

平成30年度新居浜市救急医療体制維持確保検討委員会 議事録概要

1 日 時 平成30年7月24日(火) 13:00～13:45

2 場 所 新居浜市保健センター 3階 中会議室

3 出席者 武方 誠二委員、山内 保生委員、宮下 直之委員、近藤 博委員、
加藤 すみれ委員、金子 剛委員、高橋 秀明委員、中原 一也委員
毛利 弘委員、白石 亘委員、木戸 貴美佳委員
(欠席者) 鈴木 誠祐委員、伊藤 智子委員
その他：西条保健所企画課 大塚係長、総務警防課 星加副課長
事務局：保健センター 近藤主幹、宇野副所長、山之内

4 傍聴者 なし

5 会議内容

(事務局)

ただ今から、平成30年度新居浜市救急医療体制維持確保検討委員会を開会いたします。

本日は、お忙しい中、またとても暑い中、ご出席いただき、ありがとうございます。

議事に入るまでの間、会議の進行を務めさせていただきます保健センターの山之内と申します。よろしくお願ひします。委員の皆様につきましては、資料11ページの委員名簿のとおりですが、役員改正、人事異動に伴い、新しく委員にご就任いただきました委員のご紹介をさせていただきます。新居浜市医師会会長 山内委員、新居浜市医師会副会長 宮下委員、西条保健所企画課長 中原委員、新居浜市消防長 毛利委員です。次に、事務局職員を紹介いたします。近藤主幹、宇野副所長です。皆様、今年度もよろしくお願ひします。

この会は、新居浜市審議会等の公開に関する要綱に基づき、傍聴席を設けておりますが、本日の傍聴者はいらっしゃいません。

まず、会議に先立ちまして、白石福祉部長からご挨拶申し上げます。

(福祉部長挨拶)

本日は大変お忙しい中、新居浜市救急医療体制維持確保検討委員会にご出席いただき、ありがとうございます。また日頃から新居浜市の医療・保健・福祉・教育の推進に御尽力いただいておりますことに、この場をお借りいたしまして、厚く御礼申し上げます。

さて本委員会は、本市の救急医療体制の維持・確保のため、医療・地域・行政が一体となって、市民の安心・安全な生活を実感できる体制整備に取り組むことを目的にしております。

平成24年2月に会を設置いたしましてからこれまでに、救急医療に対する意識調査や、救急医療シンポジウム、救急医療座談会、医師の講演会の開催、救急医療受診啓発DVDの視聴会を開催してまいりました。これらのほか、新居浜市医療機関マップや救急医療ダイジェスト版の全戸配布を行うなど、委員の皆様と共に検討しながら、市民生活に直結する啓発を中心に取り組んできたところでございます。

しかしながら、本市の医療を取り巻く現状は、医師の減少や高齢化などによりまして、医師の確保が困難となる一方、患者である市民の価値観は多様化し、コンビニ受診や専門医志向の患者の増加、モニターペイシエントの問題、軽症救急患者の、救急車利用の増加の問題など、非常に深刻な状況となっております。

今後さらに医療の需要は増えると予想されておりますことから、今ある医療資源を、いかに守っていくかは、患者であります市民のご理解やご協力が不可欠であると考えております。

このようなことから、本委員会によりまして、市民が不安のない安心安全な生活を実感できる救急医療体制の構築に向けた取り組みを引き続きお願い申し上げます。本日は、よろしくお願ひいたします。

事務局：ありがとうございました。それでは、新居浜市救急医療体制維持確保検討委員会設置要領第6条に基づきまして、これからの議事は、武方会長にお願ひいたします。

武方会長：それでは、ただ今からお手元の会次第にそって、議事を進めてまいります。議題（1）の平成29年度救急医療体制維持確保検討委員会活動実績について、事務局から説明をお願いします。

事務局：議題（1）、平成29年度 新居浜市救急医療体制維持確保検討委員会活動実績について、説明いたします。資料1ページをご覧ください。まず、1の検討委員会の開催につきましては、平成29年7月20日に開催し、新居浜市の救急医療体制維持確保検討事業について、平成29年度の活動計画についてを議題にし、新居浜市医師会と新居浜市の協働事業により、作成しました救急医療受診啓発DVDを活用した啓発を中心に活動をすることにしました。委員の皆様、それぞれ所属団体等におかれまして、「1回以上」を目標に、このDVDの視聴機会を設けていただき、視聴後に、参加者からの感想や意見をいただきました。

次に、2の出前講座につきましては、昨年度は、4月15日に、保育協議会総会で、医療の現状と救急医療体制のしくみについてお話しし、DVDも合わせて視聴しました。6月20日には、ファミリーサポートセンター会員を対象に、救急医療に関する出前講座を実施しました。7月21日には、社協船木支部が毎年、この時期に開催される講演で、救急医療の現状と問題点に関するお話しを実施しました。11月4日は、高津診療所の組合員を対象に救急医療の現状と問題点に関するお話しを実施しました。

救急医療受診啓発DVDを視聴後の感想・意見として、代表的なものを紹介いたします。新しい若い医師や病院が開院してくれればいいですが、今の救急医療体制が維持できるよう一人一人が意識を変えなければと思いました。タクシー代わりに救急車を呼んだりコンビニ受診をしたりする人には代金を高く請求したっていいのではないかと思う。普通は救急車を呼ぶと近所の人に知れるから恥ずかしいという感覚だと思うけど、だんだん意識が変わっているのかも、安易に救急車を呼ぶことは、医師不足になり、自分たちが困る結果になると改めて知った等がありました。

次に、3の啓発活動・広報活動等についてですが、スローガンポスター、チラシの作成、平成29年9月号、平成30年3月号の市政だより特集記事の掲載、転入者や希望者に対し医療機関マップの配布、新生児訪問において乳幼児受診フローチャート内科版・外科版の配布、DVD「みんなで守ろう 新居浜市の救急医療体制」の貸し出し、LED掲示板へ掲載、本庁舎・図書館・保健センターでのロビー展を実施しました。資料2、3ページに、平成29年度に掲載した市政だより、資料4、5ページにロビー展の写真になりますので、お目通しをお願いいたします。また、昨年この会で、説明いたしました、平成29年度から施行された新居浜市医師確保奨学金貸付、新居浜市医療機関新規開業等支援事業補助金ですが、申請はありませんでした。以上です。

武方会長：資料1の内容について、何か質問、ご意見はありませんか。

高橋委員：昨年、DVDの視聴をしましたが、みなさんの反応はすごくよかったです。もっと周知できたらと思います。

金子委員：民生児童委員協議会が、昨年100周年の記念事業があり、取組ができなかった、専門部会の年間計画が決まっていたので、DVDの視聴がむずかしかったが、今年は事務局の方に、年間計画の中に入れてほしいと話をしています。

木戸委員：DVDの市民向けの貸し出しは、保健センターにおいてあります。消防の方にもDVDをおいていて、救命講座で利用しています。医師会の方にも、各医療機関に配布しているので、DVDの視聴の実績としては出できていないが、集約するともう少し人数はいると思います。

武方会長：次に（2）平成30年度事業計画について、事務局から説明をお願いします。

（議題2概要）

事務局：議題（2）平成30年度事業計画について、説明いたします。資料6ページをご覧ください。まず、1、検討委員会の開催は、本日のこの1回としまして、昨年度同様救急医療適正受診啓発DVDを活用した啓発を中心に活動を進めてまいりたいと、事務局としては、計画しております。保健センターでは、昨年に引き続き、1歳6か月児・3歳児の検診時の待ち時間を利用して、お母さん方に見ていただいております。委員の皆様にも、昨年同様、それぞれの所属団体等におかれまして、今年度も1回以上を目標に、救急医療適正化受診啓発DVDの視聴機会を設けていただき、視聴後に、参加者からの意見や感想をいただきたいと考えております。救急受診チャート、かけはしや新居浜市の医療機関マップ等、啓発の冊子がありますので、DVDの視聴と合わせて、委員の皆様の中で、所属団体等で配布されたい方がいらっしゃいましたら、事務局まで、お願いいたします。

次に、2、出前講座につきましては、6月27日に、南沢津保育園の方で実施いたしました。

今後も、ご要望がございましたら、対応してまいりたいと考えております。

次に、3、啓発活動・広報活動等につきましては、昨年度までと同様、ポスター、チラシの配布、市政だよりの中で特集号を予定しております。

また、9月の救急医療週間にあわせて、本庁舎、図書館、保健センターにおきまして、ロビー展を予定しております。

市役所本庁舎北側及び東側にありますLED掲示板を使った啓発や、新生児訪問の案内等を送付する際に、チラシを同封するなど、機会あるごとに、救急医療の啓発活動に努めてまいりたいと事務局としては、計画しております。以上です。

武方会長：事務局から今年度の計画について説明いただいたが、何かご質問、ご意見等はありませんか。

近藤委員：DVDの貸し出しの時に、プロジェクター等の貸し出しはしていますか。

木戸委員：保健センターでは、プロジェクターの貸し出しはしていませんが、出前講座でお伺いする時に、プロジェクター等がない場合は、保健センターの物をもって伺うことができますので、出前講座から申込みをしてもらえたらと思います。

武方会長：DVDがありますと広報誌に載せていますか。

木戸委員：市民向けの出前講座には、救急医療体制についてで、載せてます。DVDを製作したときには、掲載しました。

山内委員：医師会のホームページにDVDがあると思います。

武方会長：次にその他として、何かありませんか。

事務局：新居浜市の医療資源状況についてですが、内容等につきましては、資料7、8ページ、お目通しをお願いいたします。全国的に医師の減少や高齢化、後継者不足等は、深刻な社会問題となっており、本市も例外ではないことを、この資料で、ご理解いただけたと存じます。以上です。

武方会長：このことについて、何かご質問、ご意見はありませんか。

宮下委員：小児科の先生が非常に少ない、県病院は充実しているが、少数になってきている。愛媛大学の方から、急患センターの方に来てもらっているが、それもいつまで続けてもらえるか、しばらくはいいのだが、これからはどうなるのか、わからない。市の方も奨学金を出したり、補助をしてくれるようになったが、長期的な問題と短期的な問題の両方あるので、いい方法があればいいのだが。医療にふれる人が新居浜からでもらわなければならないので、受験をひかえている方がみえれば、進学してもらえよう声掛けや確保してもらえたらと思います。また、救急医療の存続として、西条市、四国中央市も今、救急医療をやっているが、どうしても新居浜に集まってくる。なかなかいい案もない。

武方会長：医師確保対策については、行政、医師会、大学、市民の皆さん一体になって、何とかがんばっていかなければならないが、具体的な手法がありません。

白石委員：奨学金については、問い合わせが数件あったが、実際の申込みについては、0件、開業医の方についても、実績はございません。新居浜西高の方にも、お願いにあがったり、新居浜市出身の方がいらっしゃる大学等にも資料等を送付しました。医学部を卒業して小児科の先生になろうとする人は少ないですかね。

宮下委員：今、小児科を選ぶのは、一時期よりは多くなっているが、そんなに多くはないです。産科の先生は、女医さんが増えているが、小児科は数が少ない。それから、今、愛媛大学から夜、小児科の診察をしてもらっているが、愛媛大学としても、新居浜市の急患センターと新居浜市だけに出すというのは、苦しい。東予地区の小児科センターになったほうが、人は出しやすいことをいわれていたもので、今のところ、新居浜市の急患センターで運営しているが、市の方でも四国中央市、西条市とすり合わせしてもらって3つの東予地区で、できればもう少しだしやすくなる。そのへんでお願いしたいところでは、あります。

木戸委員：小児の救急の広域化につきましては、前医師会長からの方からも、行政が新居浜市、西条市、四国中央市の3市で話し合いをもってくださいということで、昨年、第1回目が情報の共有化で会をもたしてもらいまして、あと2回は、広域化についてと会をもちました。その中で、それぞれが1次救急をもっているのが、全体に広域化は難しく、深夜帯の部分については、新居浜市は運営しているが、両市は運営していないので、深夜の部分について広域化だったら可能ではないかというご意見をいただきまして、まず深夜帯について広域化できないかということで、昨年度、医師会の3役会の方でそういう結果だったことを報告させていただいて、深夜帯以外の愛媛大学からきてくださっている部分をどうするか、医師会の中でお話しをしていただくようお願いをしているところです。

山内委員：内科小児科急患センターで、今頃は問題ないのでいいのですが、インフルエンザが流行した時期に、熱がでて、調子が悪いと来られる方はわかるのですが、症状がないのに、検査のためだけに、急患センターを受診する人が結構多くて、休日の日とか流行の時期は待ち時間が長くなって調子の悪い患者さんにご迷惑をかけている状態なので、検査は診療時間内に病院で行えるので、そちらを利

用するように広報をお願いしたい。

加藤委員：女性連合協議会は、昨年DVDを視聴できていないので、今年は取り組んでいきたい。

武方会長：平成30年度の委員会の開催は、今回の1回のみということから、たくさんお話しいただきました。各所属団体でも、啓発、DVDの宣伝をぜひよろしくお願いします。

6 閉会